

## 小さな窓

車窓に映る彼女は小さな窓を覗き込んでいる  
君は何を待ち受けているのか  
時折ちらちらと私を窺う      その目  
絶望の向こう側にある穏やかな海のような・・・

あらゆるものが提供される  
あらゆるものが用意される  
体験までも  
心理までも

それら全てを味わい尽くそうとする  
そのことが共通の「目的」となっている  
それなのに彼女の目は尋ねている  
乾いた唇が尋ねている

「あらゆるもの、というからには  
あらゆるものなのだろうけれど  
でも、そうでないものを持っていないかしら？  
あなたは、それをご存知ないかしら？」

あらゆる軌道上の探索が試みられている  
その軌道を踏み外し、新たな軌道を辿ることも許されている  
しかもなお、彼女は待ち受けているのだ  
未知の領域に足を踏み入れる、その手引きをする者を

私はその眼差しを吸い取ってしまう  
それだけが、今の私が返すことの出来る答えだとは情けない  
彼女はそれを感じ、不満そうに小さな窓に目を落とす  
洪水のように乱れ飛ぶ「あらゆるもの」に・・・

(2004.4.11)